

平成 13 年 3 月 21 日

国際石油開発(株)(インペックス)
東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 1 番 18 号
代表取締役社長 松尾 邦彦

インドネシア共和国東カリマンタン沖合アタカ油田・
累計生産量 6 億バレル達成について

インドネシア石油(株)は、インドネシア共和国東カリマンタン沖合アタカ油田において、本年 3 月 7 日に原油の累計生産量 6 億バレルを達成した。

アタカ油田は、1993 年 5 月に原油の累計生産量 5 億バレルを達成しており、今回の 6 億バレルには 8 年足らずで到達したことになる。

現在、次の累計生産量 7 億バレル達成を目指し、積極的な開発計画を実施している。

なお、同油田の現在の生産量は、原油が日産 23,500 バレル、ガスが日産 150 百万立方フィートである。

アタカ油田は、1970 年に発見され、1972 年 11 月に生産が開始された。本油田は当社にとっての初めての商業油田であり、1977 年には日産 110,000 バレルのピーク生産量を記録し、当社の安定した経営基盤を築くことに大きく貢献し、現在に至っている。

アタカ油田を含むアタカユニットは、当社 50%、米国 Unocal 社 50%(オペレーター)の参加権益比率で操業されている。

※) 補足説明

1.アタカ油田は、インドネシア共和国東カリマンタン、バリクパパン市の北東約 150km の海上に位置し、水深約 55m である。

2.本油田では、原油に随伴して生産されるガスは、ボンタン LNG プラント、肥料プラントへ供給されている他、LPG(プロパン、ブタン)として出荷している。

